

料金後納  
郵便

**BANDO** DOING MORE on the new frontier

## 株主の皆様へ **バンドー化学株式会社**

平成22年3月期 第3四半期累計期間（連結）

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
事務取扱場所 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号  
☎0120-094-777（通話料無料）

返送先 〒540-8694 大阪東支店私書箱第455号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

まずこちらを

開く 濡れている場合は乾かしてから  
はがしてください

### ■ 配当状況

	1株当たり配当金（円）					配当金総額 （年間） （百万円）	配当性向 （連結） （%）	純資産 配当率 （連結） （%）
	第1 四半期末	中間期末	第3 四半期末	期末	年間			
2010年3月	-	3.00	-	3.00 （予想）	6.00 （予想）	/	-	/
2009年3月	-	5.00	-	2.00	7.00	702	-	1.7
2008年3月	-	5.00	-	5.00	10.00	1,003	19.0	2.3

### ■ 会社概要

社名 バンドー化学株式会社  
Bando Chemical Industries, Ltd.  
創業 1906年（明治39年）4月14日  
設立 1937年（昭和12年）1月7日  
本店 神戸市兵庫区明和通3丁目2番15号  
本社事務所 神戸市中央区港島南町4丁目6番6号  
TEL (078) 304-2923  
従業員数 1,359名（平成21年9月30日現在）  
ホームページアドレス <http://www.bando.co.jp>

### ■ 事業所

東京支店、名古屋支店、大阪支店  
加古川工場、南海工場（大阪府泉南市）、和歌山工場、神戸工場、足利工場  
生産技術センター（神戸市）、R&Dセンター（神戸市）、伝動技術研究所（和歌山県）

**BANDO**

<http://www.bando.co.jp>

### ■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 TEL（通話料無料）0120-094-777
公告掲載新聞	日本経済新聞・神戸新聞
上場取引所	東京（第1部）・大阪（第1部）

〈ご注意〉

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

本データの記載内容は、平成22年3月期第3四半期決算短信に基づき作成しております。  
なお、その後に公表される可能性がある訂正情報や業績予想の修正情報については、本データの記載内容には反映されません。



バンドー化学はチーム・マイナス6%に参加しています

# 株主の皆様へ

2010年2月  
バンドー化学株式会社

平成22年3月期第3四半期累計期間（連結）の概況をお届けいたします。

当社グループを取り巻く市場環境につきましては、各国の景気刺激政策の効果により、最悪期を脱したものの、需要回復のペースは緩やかなものに留まっております。また、国内の景気動向は、個人消費や設備投資も依然として低調に推移しており、原油・ナフサの高騰による原材料高や円高による市場環境の悪化も懸念され、先行きについては予断を許さない状況が続くものと予想されます。一方、海外では欧州の回復に遅れが見られるものの、中国・アジア諸国は堅調に推移しており、米国も回復基調にあります。

当社グループは、このような市場環境において、全社を挙げての収益改善プロジェクト"BANDO Recovery Plan-'09"を推進し、更なる総原価の低減による、収益改善に鋭意取り組んでまいりました。

この結果、当社グループの第3四半期累計期間（連結）の業績は、次頁（右記）以降のとおり前年同期比では、大幅な減収減益となりましたが、当初の業績予想を上回る結果となりました。

通期の業績の見通しにつきましては、売上高は減少するものの、経常利益および当期純利益は、前年同期を上回る見込みであります。

今後も、収益改善を強力に進めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長  
小林 昭夫



代表取締役社長  
原 和義

## 平成22年3月期第3四半期累計期間（連結）の概況

（詳細につきましては、当社ホームページ「株主・投資家の皆様へ」掲載の「平成22年3月期第3四半期決算短信」をご覧ください。）

### ■ 経営成績



● 通期 □ 第3四半期



郵便はがき

### ■ 事業のセグメント別売上高の状況



**【ベルト・工業用品事業】**  
前年同期比では減少しているものの、自動車用伝動製品を中心に、販売は徐々に回復してきております。



**【化成品事業】**  
建築資材製品は前年同期並みを確保したが、装飾表示用製品、工業用フィルムの販売が減少。



**【その他事業】**  
国内子会社における機械設備の販売が減少。

### ■ 平成22年3月期の連結業績予想

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

項目	通期	金額	増減率
売上高	通期	72,000百万円	△17.7%
営業利益	通期	2,000百万円	△5.4%
経常利益	通期	1,900百万円	+26.1%
当期純利益	通期	750百万円	-
1株当たり当期純利益	通期		7円48銭

業績予想は、平成21年11月10日公表時から変更しておりません。なお、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。